

部局(庁)名

産業労働部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（計量検定所）

1 施設の概要

施設名称	計量検定所	所在地	秋田市川尻若葉町1番5号
施設面積	915.70 m ²	建設年	平成2年
構造・階数	R C造1階	台帳価格	91,685,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>計量法には地域における検査等の実施主体は都道府県と定められており、県は継続的に検査機能を維持する必要がある。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

現時点で予定はない。

※ 公民連携の検討について

- ・平成22年度に、計量法に基づく業務の効率化等を図るため組織改正を行った。
（計量検定所は廃止、検査等の主たる業務は外部委託、それ以外の業務は産業政策課に移管）
- ・土地・建物の管理は県（産業政策課）が行い、業務を受託した（一社）秋田県計量協会が検査等に必要部分について許可を得て使用している。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

計量法で検査等の実施主体は都道府県と定められているため検討の予定はない。

※ 市町村協働の検討について

計量法で検査等の実施主体は都道府県と定められているため検討の予定はない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

鉄筋コンクリート造の施設で耐用年数は50年であり、現在築27年である。
予防保全型の修繕を実施することで耐用年数経過後もできるだけ長く使用することを想定。
その後は、建物・設備の状況により、建替等を検討。

4 管理上の課題等

- ・経年劣化により庇の一部が落下するなどの破損が生じてきており、内部の設備等も含めて、施設全体の要修理箇所の確認が必要。
- ・確認次第では、中長期的な修繕計画の策定が必要。

5 管理に関する実施方針

・検定施設であることから、検査行為がどの受験者に対しても同様な条件で検査ができるよう施設及び設備の機能を維持する。
 ・躯体保護のため屋根の防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とし、冷暖房設備の更新、電気設備の改修、内装の改修なども実施する。

6 管理に関する実施計画

計量検定所に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
30	空調設備修繕	1,871	
32	冷暖房設備更新	6,380	H12整備
33	内装改修	3,828	
34	屋根塗装	7,480	
36	電気設備改修	3,857	幹線、ケーブル
	(合 計)	23,416	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,223	1,240	1,261	警備、清掃、設備点検費
運用コスト	975	970	788	電気、ガス、水道等
修繕コスト	49	89	62	小破修繕費
その他				
(合計)	2,247	2,299	2,111	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	4,560	5,045	4,677	検査・検定に係る手数料

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,621	1,310	1,274	施設利用による検査件数

【総括表】

部局(庁)名	産業労働部
--------	-------

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(産業技術センター)

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	産業技術センター本館	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
2	産業技術センター高度技術研究館	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2 施設管理に関する優先順位の方針

本館（S57年竣工）と高度技術研究館（H4年竣工）で建築年数が10年違うので、老朽化は本館の方が進んでいるが、安全及び利用者の利便性の確保に向けた修繕を優先し、それから経年劣化に伴う修繕を実施する。

1	施設名	産業技術センター本館
---	-----	------------

1 施設の概要

施設名称	産業技術センター本館	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄4-11
施設面積	9,552.95 m ²	建設年	昭和57年
構造・階数	鉄筋コンクリート造、地上2階、地下1階	台帳価格	525,612,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>当面は、施設等の保守・修繕を適切に実施し、公設試験研究機関としての機能維持・向上を図っていく。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

今後、施設の老朽化の度合いを踏まえ、建て替え等を検討する際には、高度技術研究館との集約化を含め、より効率的な施設の在り方を検討する。

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

--

※ 市町村協働の検討について

--

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

目標使用年数経過後は、施設の老朽化の度合いを踏まえ、高度技術研究館との集約化を含め、より効率的な施設の在り方を検討する。

4 管理上の課題等

建設後、34年を経過し、経年劣化によるシャッターの腐食や雨漏りが発生しているほか、塩害による腐食等、空調設備も劣化している。今後、公設試験研究機関としての機能維持を図っていくには、緊急避難的な修繕のほか、ライフラインを含めた大規模修繕の実施など長期的な視点に立った修繕計画を立案する必要がある。

5 管理に関する実施方針

- ・安全及び利用者の利便性の確保に向け優先度の高い修繕から実施する。
- ・経年劣化による腐食等に対応した修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

産業技術センター本館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	空調更新工事	29,869	経年劣化による空調機器の腐食・省エネ対策
30	火災報知設備更新	15,403	消防防災上の大規模修繕
32	受変電設備更新	44,986	設置から35年経過・防災上の大規模修繕
32	エレベータ更新	55,080	設置から35年経過・故障中・重量物を安全に2階に運搬するため
32	自動ドア開閉装置改修	1,966	センサー不良による挟まれ・衝突防止等安全対策
32	B棟機械加工試験室シャッター修繕	2,811	経年劣化によるシャッター腐食のため
32	B棟焼結・結合研究室シャッター修繕	2,811	〃
32	B棟金属溶解試験室シャッター修繕	2,627	〃
32	B棟精密強度試験室シャッター修繕	2,573	〃
33	緊急地震速報受信機設置	1,397	防災上の設備
	(合 計)	159,523	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	7,608	7,925	11,775	
運用コスト	25,600	25,778	19,980	
修繕コスト	2,493	3,291	9,851	施設分のみ集計
その他	0	0	0	
(合計)	35,701	36,994	41,606	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	16,688	14,346	19,117	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	3,509	3,970	4,321	センター分として集計

【個別票】

更新日：H31. 3. 29

2	施設名	産業技術センター高度技術研究館
---	-----	-----------------

1 施設の概要

施設名称	産業技術センター高度技術研究館	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄4-21
施設面積	6,611.34 m ²	建設年	平成4年
構造・階数	鉄筋コンクリート造、地上3階	台帳価格	1,775,782,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 当面は、施設等の保守・修繕を適切に実施し、公設試験研究機関としての機能維持・向上を図っていく。		

※ 集約・複合化の検討について

本館の建て替え等を検討する際に、本館との集約化を含め、より効率的な施設の在り方を検討する。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

本館の建て替え等を検討する際に、本館との集約化を含め、より効率的な施設の在り方を検討する。

4 管理上の課題等

建設後、24年を経過し、経年劣化による屋根・壁等のシーリングの劣化により漏水が発生しているほか、空調設備の自動制御機能の一部に故障が生じている。今後、公設試験研究機関としての機能維持を図っていくためには、緊急避難的な修繕のほか、ライフラインを含めた大規模修繕の実施など長期的な視点に立った修繕計画を立案する必要がある。

5 管理に関する実施方針

- ・安全及び利用者の利便性の確保に向け優先度の高い修繕から実施する。
- ・経年劣化による腐食等に対応した修繕を実施する。
- ・クリーンルームについて、これまでの実績（県内企業への技術展開）と今後の維持費等を踏まえて、空調の見直しを検討する。

6 管理に関する実施計画

産業技術センター高度技術研究館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	自動給水ポンプユニット改修	1,690	圧力維持・交互運転不良による。
30	天井落下防止対策工事	12,166	
32	空調自動制御機器改修	10,772	制御弁・指示調節計・信号変換器等の故障による自動制御不良
32	壁面漏水対策工事	20,552	シーリングの劣化により漏水が発生。大規模改修
32	外部スチールドア修繕	3,039	腐食による開閉困難
32	受変電設備更新	30,219	設置から25年
32	自動制御装置改修（中央監視盤ほか）	3,413	突発的な故障発生・一部制御不能
33	熱源水用流量計更新	2,649	計測不能
33	自動ドア開閉装置	1,890	設置から15年以上、保守部品の製造終了
33	一般研究室・セミナールームエアコン更新	11,992	経年劣化により稼働不可
	(合 計)	98,382	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	25,060	24,644	24,513	
運用コスト	53,692	57,014	42,424	
修繕コスト	2,161	2,300	10,898	施設分のみ集計
その他	0	0	0	
(合計)	80,913	83,958	77,835	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	6,564	6,577	6,398	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	3,509	3,970	4,321	センター分として集計

部局(庁)名	産業労働部
--------	-------

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(秋田県勤労身体障害者スポーツセンター)

1 施設の概要

施設名称	秋田県勤労身体障害者スポーツセンター	所在地	秋田市新屋下川原町	
施設面積	1,277.37	m ²	建設年	昭和51年
構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階	台帳価格	36,940,000	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>利用者は過去3年間で増加しており、勤労身体障害者のスポーツセンターとして県内に同様の施設もないため、適宜修繕を行いながら存続する。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

現時点で予定はない。

※ 公民連携の検討について

平成18年度より指定管理者制度を導入。現在の指定管理者は一般財団法人秋田市勤労者福祉振興協会(平成28年度～平成32年度)。今後も指定管理者制度で運営を行う予定。

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

現時点で予定はない。

※ 市町村協働の検討について

現時点で予定はない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
目標年数使用後は、建物の劣化状況や利用状況等を考慮し、施設の方針(集約・複合化等)を検討。

4 管理上の課題等

・築41年であるため、修繕が必要な箇所が多い。

5 管理に関する実施方針

- ・利用者が使用する物や場所については早めに修繕を行う。
- ・外壁については現在不便はないが、雨漏りや剥落の危険性があるため、長期的に建物を使用するには修繕が必要と考えられる。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期はそれぞれ20年と15年とする。

6 管理に関する実施計画

秋田県勤労身体障害者スポーツセンターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
35年度	外壁他改修工事	40,864 全面修繕	コンクリート割れ、剥がれ、塗装剥がれ、浮き等あり
36年度	館内暖房機交換工事(6台)	1,062	
	(合計)	41,926	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,012	1,035	1,052	
運用コスト	1,585	1,167	1,062	
修繕コスト	1,325	356	417	
その他				
(合計)	3,922	2,558	2,531	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	0

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	10,869	10,906	11,345	

【総括表】

部局(庁)名	産業労働部
--------	-------

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(技術専門校)

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	鷹巣技術専門校	北秋田市	存続	大規模修繕を実施
2	秋田技術専門校	秋田市	存続	大規模修繕を実施
3	大曲技術専門校	大仙市	存続	大規模修繕を実施
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2 施設管理に関する優先順位の方針

全体的に比較的新しい施設であるが、建設後一定の年数が経過しており設備などに劣化等がみられるため、各施設の管理に関する実施計画等に基づき順次修繕等を行う。
各施設とも耐用年数までの使用を目標としていることから、今後も適切な管理を行う。

1	施設名	鷹巣技術専門学校
---	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	鷹巣技術専門学校	所在地	北秋田市
施設面積	7,051.52 m ²	建設年	H19
構造・階数	W造2階（清和寮 RC造2階）	台帳価格	960,859,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

建設後11年程の比較的新しい施設である。引き続き適切に管理し施設を維持していく。

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

--

※ 市町村協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

<p>適切に管理し耐用年数の使用を目指す。目標使用年数経過後は、建て替えを要する。</p>

4 管理上の課題等

<p>・本館については、外壁塗装の劣化や所々修繕が必要な箇所があるほか、清和寮については、屋根のひび割れ等の劣化による漏水の危険がある屋上防水工事のほか、暖房機器取替工事等、比較的規模の大きい修繕が見込まれる。</p>

5 管理に関する実施方針

- ・本館については、外壁塗装の劣化などがみられるため、修繕が必要である。清和寮についても、屋上防水工事、暖房機器取替工事等が必要である。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。
- ・修繕の優先順位については、訓練生に直接支障の生じる箇所を最優先とした上で、老朽化の度合い等を鑑み、設定した。

6 管理に関する実施計画

鷹巣技術専門校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
30	寄宿舎（清和寮）屋根防水工事实施設計	549	
31	寄宿舎（清和寮）屋根防水工事	14,864	
32	寄宿舎（清和寮）石油暖房器取替工事	12,102	
33	機械格納庫屋根板金工事	2,520	
34	本館外壁木部塗装工事	12,893	
35	空調設備の更新	50,689	
	(合 計)	93,617	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	15,875	18,398	15,671	
運用コスト	7,932	7,515	6,346	
修繕コスト	603	700	600	
その他				
(合計)	24,410	26,613	22,617	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	185	182	159	

2	施設名	秋田技術専門学校
---	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	秋田技術専門学校	所在地	秋田市
施設面積	8,385.89 m ²	建設年	H13
構造・階数	R C造2階	台帳価格	1,239,155,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

建設後17年程の比較的新しい施設である。引き続き適切に管理し施設を維持していく。

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

--

※ 市町村協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

適切に管理し耐用年数の使用を目指す。目標使用年数経過後は、建て替えを要する。

4 管理上の課題等

- ・建設後15年を経過しており、施設の経年劣化に伴う修繕・改修等において、既定の予算で対応するには厳しい状況になっている。
- ・特に、海に近いため、塩害による腐食等が激しい。

5 管理に関する実施方針

- ・建設後15年を経過しており、空調室内機や自動ドア、電気設備の部品の交換等が必要になっているため、状況をみながら随時修繕を施工していく必要がある。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋田技術専門校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
30	実習場屋根板金工事・塗装	3,000	
33	電話機・構内交換機交換修繕	1,000	
34	屋内空調機更新	15,000	
35	防水工事	5,000	
	(合 計)	24,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,592	3,585	3,605	うち各年、約2,300千円は訓練センターを含めての契約
運用コスト	9,551	9,200	7,825	
修繕コスト	1,434	2,404	3,438	
その他				
(合計)	15,577	15,189	14,868	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	403	468	415	

3	施設名	大曲技術専門学校
---	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	大曲技術専門学校	所在地	大仙市
施設面積	8,396.24 m ²	建設年	H17
構造・階数	R C 2階	台帳価格	948,415,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

建設後13年程の比較的新しい施設である。引き続き適切に管理し施設を維持していく。

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

--

※ 市町村協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

適切に管理し耐用年数の使用を目指す。目標使用年数経過後は建て替えを要する。

4 管理上の課題等

・建設後10年を経過し、所々修繕が必要な箇所が出てきている。27年度は、膨張タンクや循環ポンプの修繕を行っているが、現在使用中の空調設備（デンソー製灯油ヒートポンプ）が製造中止になっているなど、今後とも機械設備については、大規模な修繕が予想される。

5 管理に関する実施方針

- ・建設後10年を経過することから、空調設備の更新の他、屋根の塗装や講堂棟・管理棟の防水工事などが必要となる。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

大曲技術専門校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	体育館の天井耐震化工事	29,753	
35	屋根の塗装	5,000	
36	空調設備の更新	77,540	
37	防水工事	5,000	
	(合 計)	117,293	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	5,122	9,416	5,485	
運用コスト	9,991	9,788	8,384	
修繕コスト	704	1,348	4,028	
その他	84	87	87	
(合計)	15,901	20,639	17,984	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	358	383	356	

部局(庁)名	産業労働部
--------	-------

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（職業訓練センター）

1 施設の概要

施設名称	職業訓練センター	所在地	秋田市
施設面積	3,736.86 m ²	建設年	S49
構造・階数	R C造2階	台帳価格	66,321,005 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

耐用年数までは施設を存続する。
ただし、休止中の研修寮と体育館は除却（解体）することとする。

※ 集約・複合化の検討について

施設の管理面からは秋田技術専門校との複合化（従）が望ましいが、現在の専門校敷地面積では訓練センターの実習場や駐車場などの敷地確保が困難であり、また、訓練センターに入居している県職業能力開発協会（職業能力開発促進法に基づき設置されている法人であり、県と密接な連携の下、国家検定である技能検定の実施などを通じて、本県における職業能力開発の促進を図っている。）の活動に必要な施設をどう確保するか等の課題がある。

※ 公民連携の検討について

当該施設は、常設の技能検定試験場の役割をもち、能開法により、技能検定業務は県が行うものとされ（自治事務）、そのうち技能検定試験の実施は県職業能力開発協会が行っており、他の民間団体への業務委託を行うには現行法上困難である。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

--

※ 市町村協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

耐用年数の使用を目指すのが、建設後40年以上経過していることから、雨漏りが散発するなど老朽化が著しい。可能であれば、耐用年数を待たず、建替えることが望ましいが、入居している県職業能力開発協会の活動に必要な施設の確保が課題となっており当該計画期間内において耐用年数をふまえた施設の方向性を検討しつつ、県職業能力開発協会の業務に支障がないよう適切に維持管理していく必要がある。

なお、休止中の研修寮、体育館は除却する。

4 管理上の課題等

- ・施設の老朽化により雨漏りが発生し、その都度修繕工事を行っているなど、施設の老朽化が著しく、根本的には大規模な改修が必要である。大規模な改修には多額の費用がかかることから、建替えが望ましい。
- ・休止中の研修寮、体育館は、管理上からも解体する必要がある。

5 管理に関する実施方針

- ・躯体保護のための屋根防水及び外装塗装の改修周期は基本的には20年を目標とするが、老朽化に伴い雨漏り等が発生した場合、都度応急的な処置を行う。
- ・休止中の研修寮、体育館は平成37年に解体する予定。

6 管理に関する実施計画

職業訓練センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
30	屋上・屋根防水不良修繕（本館、実習場）	1,500	
32	石油ストーブ分解掃除、修繕	1,000	40台
35	屋上・屋根防水不良修繕（本館、実習場）	1,500	
37	石油ストーブ分解掃除、修繕	1,000	40台
37	体育館・研修寮の解体	40,000	
	(合 計)	45,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	191	179	181	ほか各年、約2,300千円専門校を含めての契約あり
運用コスト	1,634	1,447	1,378	
修繕コスト	98	1,749	2,018	
その他				
(合計)	1,923	3,375	3,577	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	6,071	7,646	6,021	

【個別票】

部局(庁)名	産業労働部
--------	-------

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(金属鉱業研修技術センター)

1 施設の概要

施設名称	金属鉱業研修技術センター	所在地	鹿角郡小坂町小坂鉱山字古館	
施設面積	3,911.00	m ²	建設年	平成3年
構造・階数	RC造・3階	台帳価格	326,510,000	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

- ・環境・リサイクル等に関する技術開発や企業への技術支援、人材養成、啓蒙普及などを行うために設置された施設であり、環境と調和した循環型社会形成を推進するうえで、今後もその機能を維持していくことが必要である。
- ・利用者等の安全・安心の確保から、計画的な維持補修等を実施する必要がある。

※ 集約・複合化の検討について

地域の特性から現在地に設置されており、移転が伴う集約・複合化にメリットは無い。

※ 公民連携の検討について

宿泊施設及びレストランには既に指定管理者制度を導入しており、今後も継続する予定である。

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

より効果・効率的な管理運営のため、民間等(市町村等を含む)への施設譲渡の可能性について、今後検討していく。

※ 市町村協働の検討について

地元市町村において、協働で管理運営するメリットが見出せない。

3 目標使用年数 【今後20年以上使用】

円滑な施設管理のために建物のライフサイクルに着目した長期的な視点に立った修繕計画(予防措置計画)を立案する必要がある。

4 管理上の課題等

- ・利用者が安全に安心して使用できるよう予防措置を含めた修繕が必要となっている。
- ・経年劣化等による、屋上防水、外壁の劣化(ひび、一部剥落を確認)、内装材(天井、内壁、床の張り替え)の修繕が必要。
- ・経年による、自家発電設備、自動火災報知設備の更新が必要

5 管理に関する実施方針

- ・利用者の利便を考慮すれば、工期を集中させる必要がある。
- ・経年劣化等による、屋上防水、外壁の劣化（ひび、一部剥落を確認）、内装材（天井、内壁、床の張り替え）の修繕を実施する。
- ・経年による、自家発電設備、自動火災報知設備の更新を行う。

6 管理に関する実施計画

金属鉱業研修技術センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	高圧機器更新	13,481	
34	外壁・屋上防水修繕	100,000	
36	内装材張り替え修繕	20,000	
37	自家発電設備更新	10,000	
37	自動火災報知設備更新	25,000	
37	空調設備更新	43,680	
	(合 計)	212,161	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,960	2,059	2,106	
運用コスト	4,535	4,652	4,543	
修繕コスト	3,200	665	12,358	H27 下水道接続工事
その他	38,368	35,191	39,116	指定管理者の人件費以外の支出
(合計)	48,063	42,567	58,123	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	77,095	71,109	74,896	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	30,807	27,683	28,999	